

改善箇所説明図



エキゾーストフロントパイプにおいて、作業指示が不適切なため、パイプクランプが間違った位置に組付けられているものがある。そのため、当該部位のボルトに必要な軸力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、当該部位のボルト・ナットが緩むことがある。最悪の場合、ナットやボルトが路面に脱落するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、パイプクランプを正しい位置で組付けし直す。

注：□ は正しい位置に変更する部品を示す。

識別：作業完了車には、クランプ部に白色ペイントを塗布する。